

## ウォータープルーフケース スポーツパック

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

#### !**注意**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### SPK-WB

© 2009 Sony Corporation Printed in Japan

<http://www.sony.co.jp/>



この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

### 主な特長

- このスポーツパック(以下本機とする)は、ソニーのデジタルスチルカメラ(以下カメラとする) DSC-W290/W275/W270専用です。(対象のカメラはすべての国または地域で取り扱いをしているわけではありません。)
- お手持ちのカメラにジャケットケースを取り付けると、細かい傷から本体を守ることができます。
- ジャケットケースを装着してからハードケースを取り付けると、雨天時や海辺(水中では水深3m以内)または雪や雨などの悪天候での撮影ができます。

### お使いになる前に必ずお読みください

- 必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。
- 水中で使用する前に、ジャケットケース開口部周辺に、ゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないか・ひび割れ、さざくれ、傷がないか確認してください。
- ジャケットケース開口部周辺に、傷が付かない状態で保管してください。
- 万一本機の不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材(カメラ、バッテリーなど)の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。



### 取り扱い上の注意

- フロントガラスに強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上での本機の開閉はできるだけ避けてください。カメラの取り付けや“メモリースティック デュオ”的交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- 本機を水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40 °Cを越える温水の中
  - 0 °C以下の場所
 結露、水漏れは、カメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35 °Cを超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- カメラを出し入れする際は、落下しないように充分ご注意ください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のある場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- 本機に長時間収納して使用していると、カメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、カメラを本機から取り出してください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。再度撮影するには、涼しい場所に放置してカメラの温度を下げてください。
- 水深3 mより深い場所で使用しないでください。

本機にサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、本機表面の変色やダメージ(表面のヒビなど)の原因となります。

### 水漏れについて

万一本機内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。  
カメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

### くもり止めリキッドについて

本機前部のガラス面に、付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり止めの効果があります。

- くもり止めリキッドの使用方法  
フロントガラスのガラス面の内側に2~3滴たらして、コットン、柔らかい布、ティッシュペーパー等でクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

### くもり止めリキッドのお問い合わせ（ご購入について）

ソニーの相談窓口にご相談ください。  
くもり止めリキッド(番号3-072-039-0□)

### お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水(水道水など)で洗い、塩分や砂をととしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脑などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けください。

上記のお手入れは本機ご使用のたびに必ず行ってください。  
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

### 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。  
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

- フロントガラス、カメラの液晶部に水滴がつく
  - ハードケースを正しく装着する。(ジャケットケース開口部の凸部がハードケースの凹部に入っているか確認し、正しく入れなおす。)
  - ハードケースおよびジャケットケースにゴミの付着や汚れがないか確認し、ゴミや汚れを取り除く。
- 撮影ができない
  - バッテリーを充分に充電する。
  - “メモリースティック デュオ”的残量がない場合、別の“メモリースティック デュオ”を入れる。または不要なデータを消す。
  - “メモリースティック デュオ”的誤消去防止スイッチを戻す。または別の“メモリースティック デュオ”を入れる。
  - カメラの温度が上がっていたら、カメラの温度が下がるまで涼しい場所に置く。

### 保証書とアフターサービス

#### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

#### アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを  
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証書は国内に限られています

付属している保証書は、国内仕様です。国外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

#### 保証期間経過後の修理は

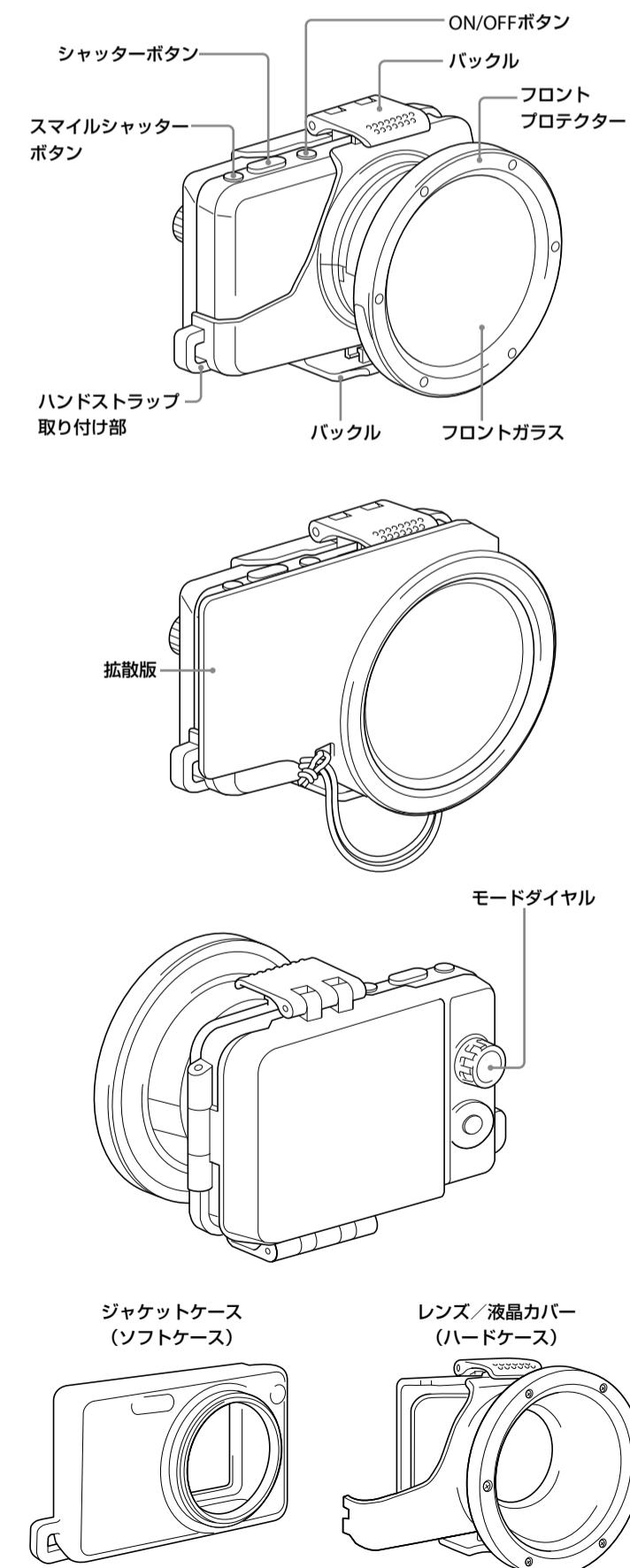
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するため必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

#### ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：SPK-WB
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ日

よくあるお問い合わせ、解決方法などは ホームページをご活用ください。	<a href="http://www.sony.co.jp/support">http://www.sony.co.jp/support</a>
使い方相談窓口	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが 流れている間に <b>「401」+「#」</b>
フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS一部のIP電話…0466-31-2511	押してください。 直接、担当窓口へ おつなぎします。
修理相談窓口	FAX (共通) 0120-333-389 毎月金:9:00~20:00 土・日・祝日:9:00~17:00
フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS一部のIP電話…0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

### 各部の名前



### 安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わず、ソニーの相談窓口に相談する

変な音やにおい、煙が出た場合は  
①電源を切る  
②ソニーの相談窓口に相談する

### 警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### !**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。



行為を禁止する記号



行為を指示する記号

!**注意** 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

#### 衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

# 準備

## デジタルスチルカメラの準備

カメラの取り付けは、湿気の少ない室内などで行ってください。高温多湿な場所での本機の開閉は、ハードケースフロントガラスのくもりの原因となります。

カメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

### 1 カメラのストラップをはずす。

### 2 バッテリー、“メモリースティック デュオ”を入れる。

充分に充電してあるバッテリーを入れてください。

充分に容量のある“メモリースティック デュオ”を入れてください。

### 3 ON/OFF(電源)ボタンを押して、電源を入れる。

### 4 モードダイヤルで希望のモードに設定する。

水中での撮影は、SCN(シーンセレクション)から $\text{REC}$ (水中)の設定をおすすめします。

水中で動画を撮影する場合は、 $\text{MOV}$ (動画撮影)に設定し、MENUボタンを押しモード選択画面を表示し、液晶画面上の $\text{REC}$ (水中)を選択してください。

### 5 AFイルミネーターを「切」にする。

AFイルミネーターは使用できません。

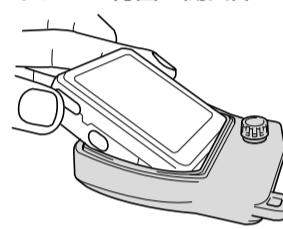
### 6 レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

## デジタルスチルカメラをスポーツパックに取り付ける

カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではカメラのレンズを傷つけることがあります。

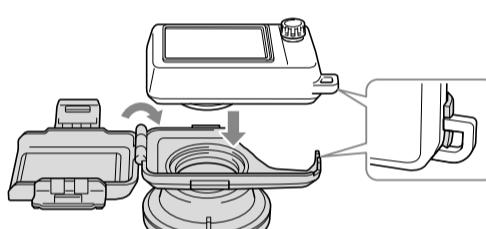
### 1 カメラのON/OFF(電源)ボタンを押して電源を切る。

### 2 カメラをジャケットケース背面の開口部から入れて、はめこむ。



カメラが正しく入っているか確認してください。

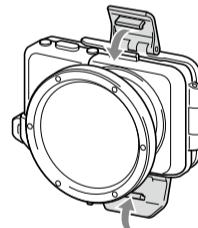
### 3 ジャケットケースを装着した上から、ハードケースではさみこむ。



ハンドストラップ取付け部にハードケースの爪が、しっかりと入っているか確認してください。

### 4 ハードケースのバックル2箇所を締める。

ボディをしっかりと押さえ、バックルがカチッとロックされるまで押してください。



#### ご注意

• ハードケースを閉じるときに、ジャケットケース開口部周辺にゴミ、砂、毛髪などが付いていないことを確認してください。

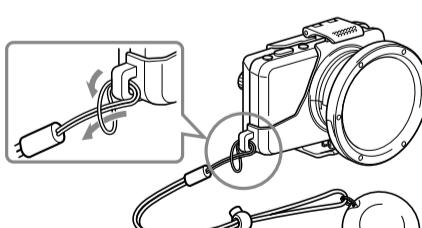
上記のような異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

• DSC-W290の液晶画面はジャケットケースの開口部より大きいため、ジャケットケースを取り付けると、液晶画面の端が見えなくなります。

## 付属品を取り付ける

### ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。



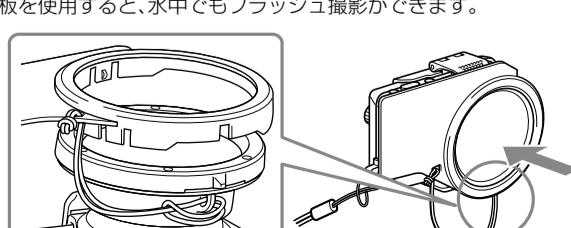
#### ご注意

ハンドストラップに付いているフロートは、水中でケースの紛失を防ぐためのものです。スポーツパックとしてお使いの場合は、フロートを付けたままでご使用ください。

### 拡散板を取り付ける

フロントプロテクターに拡散板の爪がはまるように強く押し込みます。

※拡散板を使用すると、水中でもフラッシュ撮影ができます。

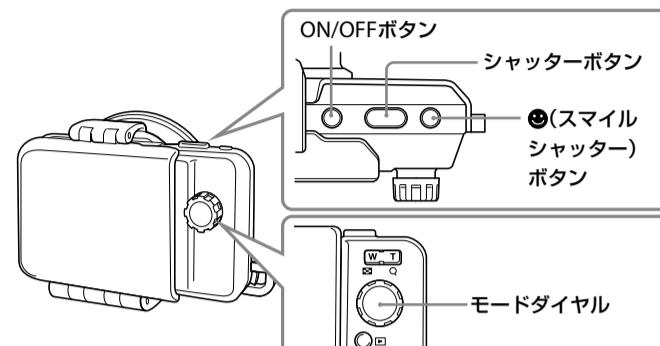


## スポーツパックを使う

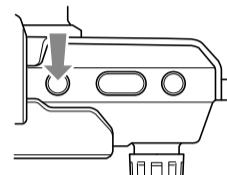
- ・ジャケットケースの装着のみでも、細かい傷から本体を守る保護カバーとして使用することができます。
- ・ジャケットケースとハードケースを併用すると、水深3mまで防水可能なスポーツパックとして使用することができます。

以下の手順はジャケットケースとハードケースを併用した場合を説明しています。イラスト内のボタンは、ジャケットケースに印字されていません。ジャケットケースの上から、カメラのボタンを操作してください。

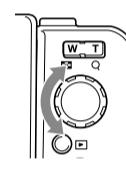
## 撮影する



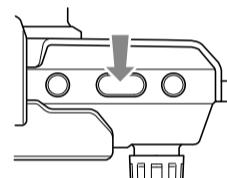
### 1 電源を入れる。



モードダイヤルが正常に動くことを確認してください。  
※モードダイヤルは、押し回して操作してください。

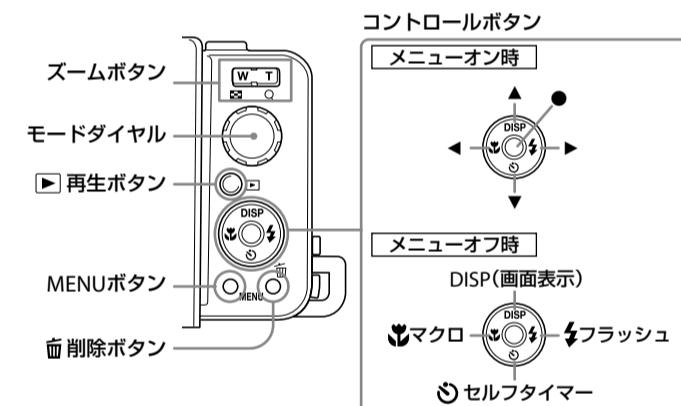


### 2 シャッターボタンを押す。



## さまざまな機能を使う／設定をする

本機に収納したカメラのさまざまな機能を使うことができます。



### モードを選択する

本機のモードダイヤルを回すと、次の順でモードが切り換わります。液晶画面を見て、モードを選択してください。

$\text{REC}$  → P →  $\text{REC}$  → EASY → SCN

静止画を撮影するとき ……  $\text{REC}$ (動画撮影)以外のすべてのモード

動画を撮影するとき ……  $\text{MOV}$ (動画撮影)

※動画撮影時は音声を正常に記録することはできません。

撮影モードをSCN(シーンセレクション)または $\text{MOV}$ (動画撮影)に設定したとき、各撮影モードの中にあるモードを選択することもできます。

カメラのMENUボタンを押し、 $\text{DISP}$ (マクロ)ボタンまたは $\text{DISP}$ (フラッシュ)ボタンで希望のモードを選択してください。

※水中で静止画撮影をするときは、シーンセレクションの中の $\text{REC}$ (水中)をお使いになることをおすすめします。また水中で動画撮影をするときは、動画撮影の中の $\text{MOV}$ (水中)を選択してください。

### 水中ホワイトバランスを選択する

SCN(シーンセレクション)で $\text{REC}$ (水中)、または $\text{MOV}$ (動画撮影)で $\text{REC}$ (水中)を選んでいるときの色合いを調整します。

WB(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
WB(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
WB(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。

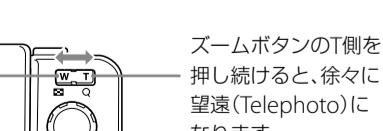
#### ご注意

- ・[水中ホワイトバランス]の $\text{DISP}$ (フラッシュ)は使用できません。
- ・フラッシュが[強制発光]のときは、[水中ホワイトバランス]は選べません。

お使いのカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください

### ズーム機能を使う

ズームボタンのW側を押し続けると、徐々に広角(Wide)になります。



ズームボタンのT側を押し続けると、徐々に望遠(Telephoto)になります。

#### ご注意

- ・本機をお使いになりフラッシュ撮影をした場合、撮影距離が短くなることや画面の左側が暗くなることがあります。
- ・本機をお使いになりフラッシュ撮影をする際に、拡散板を使用しないとケラレが出ることがあります。
- ・撮影条件によっては、写り込みが発生する場合があります。そのような場合は撮影条件を変えてご使用ください。

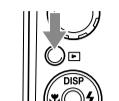
- ・電源を入れたまま一定時間操作しないと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

## コントロールボタンを使って画像を見る

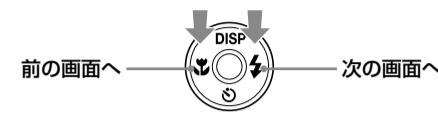
カメラのコントロールボタンを使って、液晶画面で撮影した画像を見るることができます。このとき音声は聞こえません。

### 1 電源を入れる。

### 2 $\text{DISP}$ (再生)ボタンを押す。



### 3 コントロールボタンを操作して、再生したい画像を選ぶ。

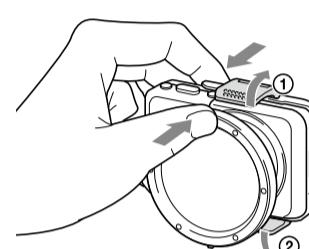


## デジタルスチルカメラを取りはずす

- ・カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではカメラのレンズを傷つけることがあります。
- ・カメラを取り出すとき、落下しないように充分ご注意ください。

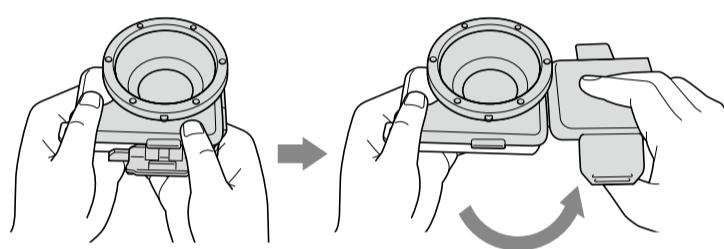
### 1 電源を切る。

### 2 ボディをしっかりと矢印方向に押さえ、バックルを①、②の順番ではずす。



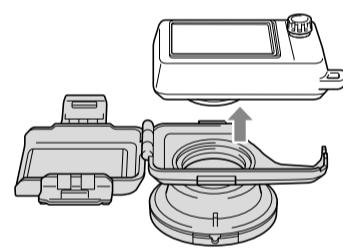
ガラス面を直接押さないようにしてください。

### 3 ハードケースの正面を上に向けてから、背面を開ける。

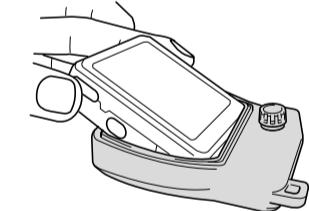


ハードケースの正面を下に向けて開けると、カメラの液晶面に水滴がつくことがあります。

### 4 背面が開いた状態のまま、ハードケースの正面を下向きにして、カメラを取りはずす。



### 5 ジャケットケースから、カメラを取り出す。



長時間ご使用になったときは、カメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、カメラを取り出してください。

### 6 $\text{REC}$ (水中)または $\text{MOV}$ (水中)に設定している場合は解除する。

### 7 AFイルミネーターをオートにする。

#### ご注意

本機を開ける前に、本機を水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってください。本機を開けるときは、体や毛髪などの水滴が、カメラにかかるないようにご注意ください。

## 主な仕様

### 材質

シリコーン、プラスチック(PC、ABS)、ガラス

### 防水構造

シリコーンゴム、バックル

### 耐圧

水深3 mまで

### 外部より操作可能なスイッチ

ON/OFF(電源)、モード、シャッター、スマイルシャッター、ズーム(W/T)、コントロール、MENU(メニュー)、削除、再生

### 外形寸法

(最大突起部を除く)

約107×84×70 mm(幅／高さ／奥行き)

### 質量

約165 g(本体のみ)

### 同梱物

ジャケットケース(1)

レンズ／液晶カバー(1)

ハンドストラップ(1)

くもり止めリキッド(1)

拡散板(1)

フロート(1)

印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。